

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 16 週（2024/4/15～4/21）感染症発生動向調査速報値（2024/4/24 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **177** 人、定点医療機関当たり **3.85** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科28定点、内科18定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

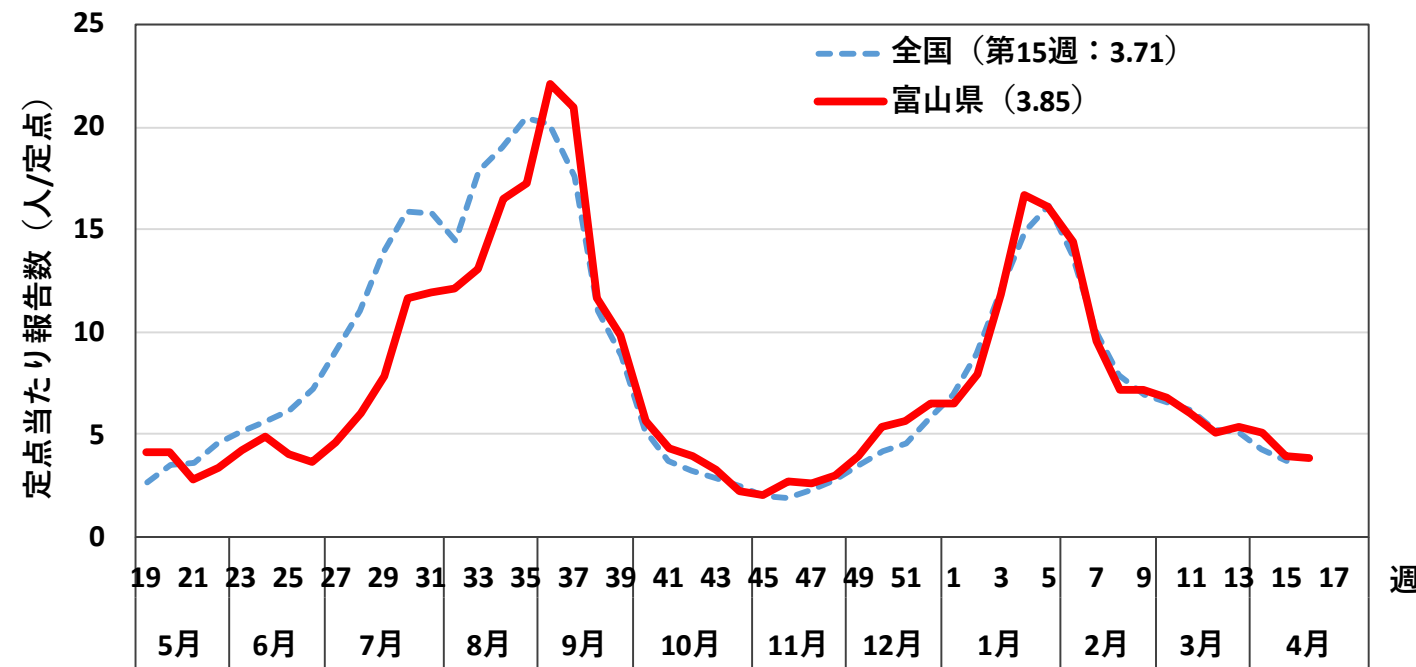
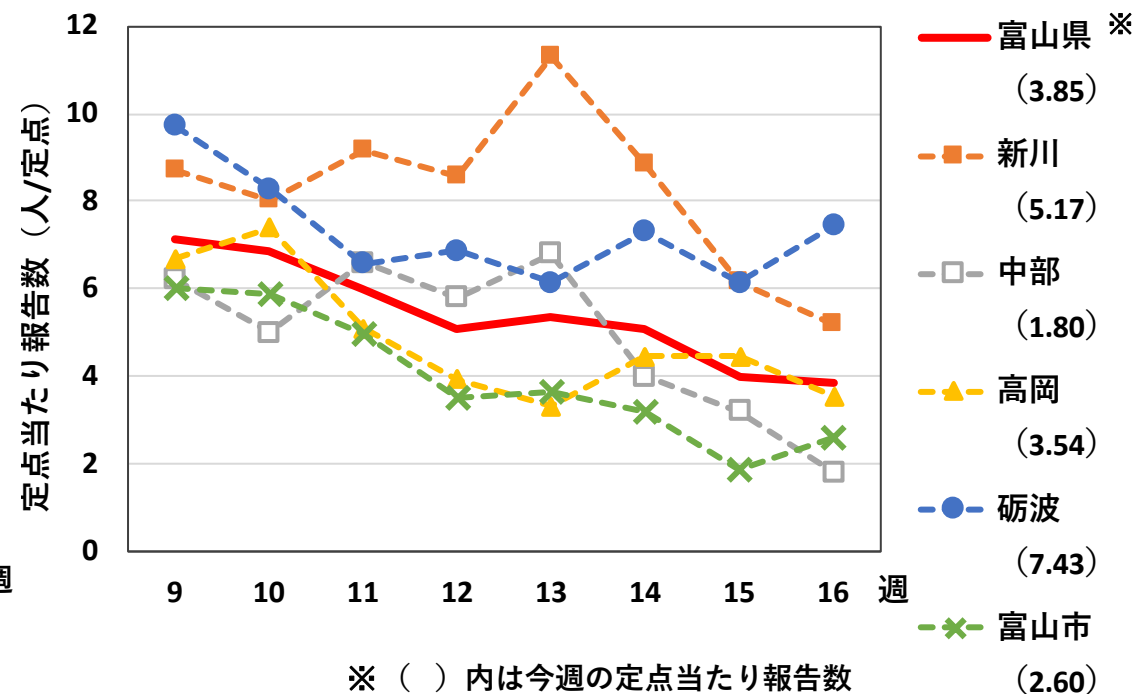


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- 今種の定点医療機関当たり報告数は3.85人/定点であり、先週（3.96人/定点）から横ばいであった（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別にみると、砺波管内では先週からやや増加したが、その他の管内では先週から減少または横ばいであった。

### 図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

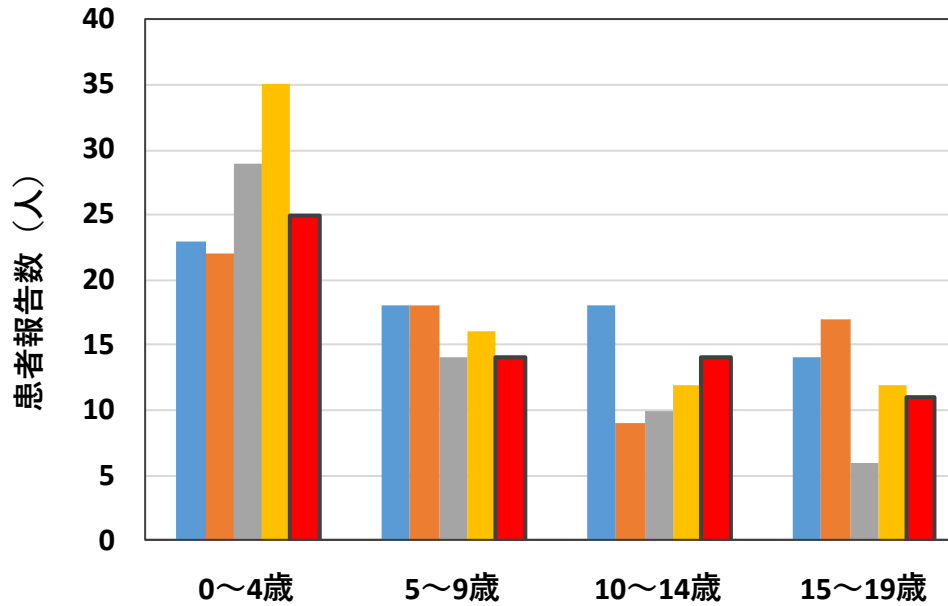
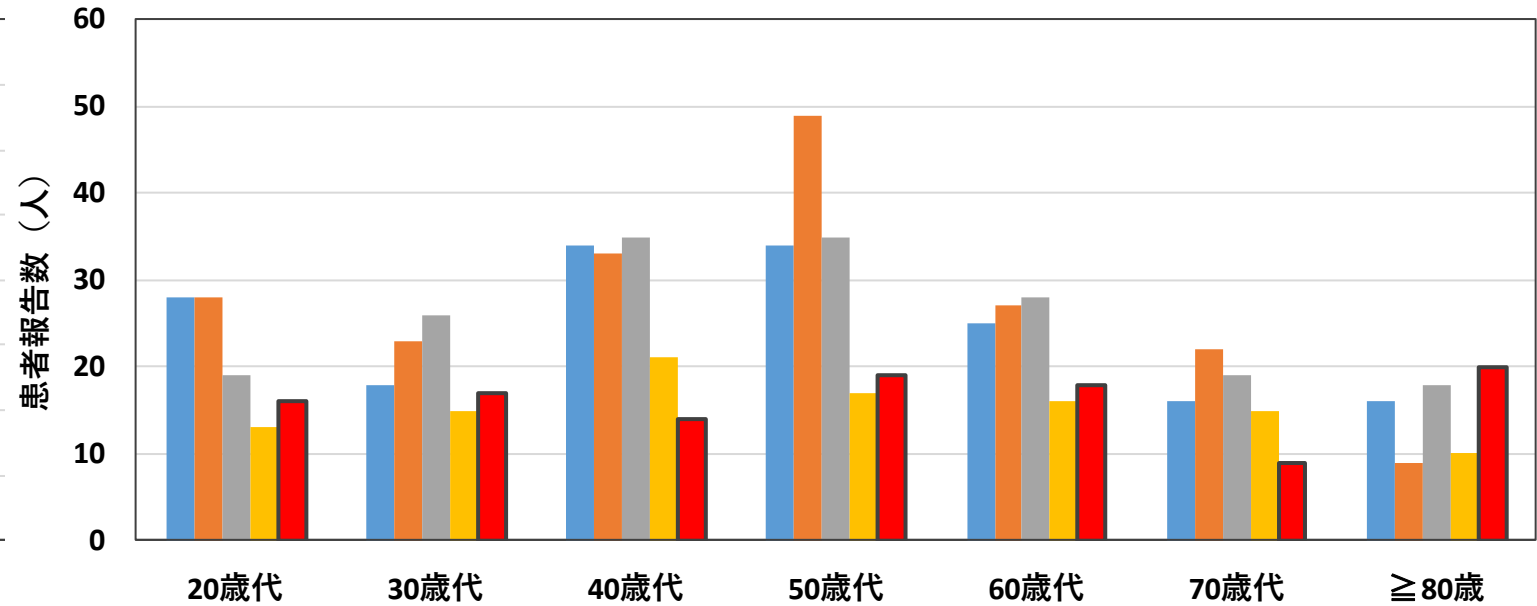


図3-2. ≥20歳



■ 第12週 ■ 第13週 ■ 第14週 ■ 第15週 ■ 第16週

※定点医療機関は小児科が多い（小児科：28定点、内科：18定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 10～14歳では緩やかな増加が継続した。また、80歳以上も先週から増加した。その他の年代は減少または横ばいであった。

図4. COVID-19入院サーベイランス

患者報告数の推移（富山県）

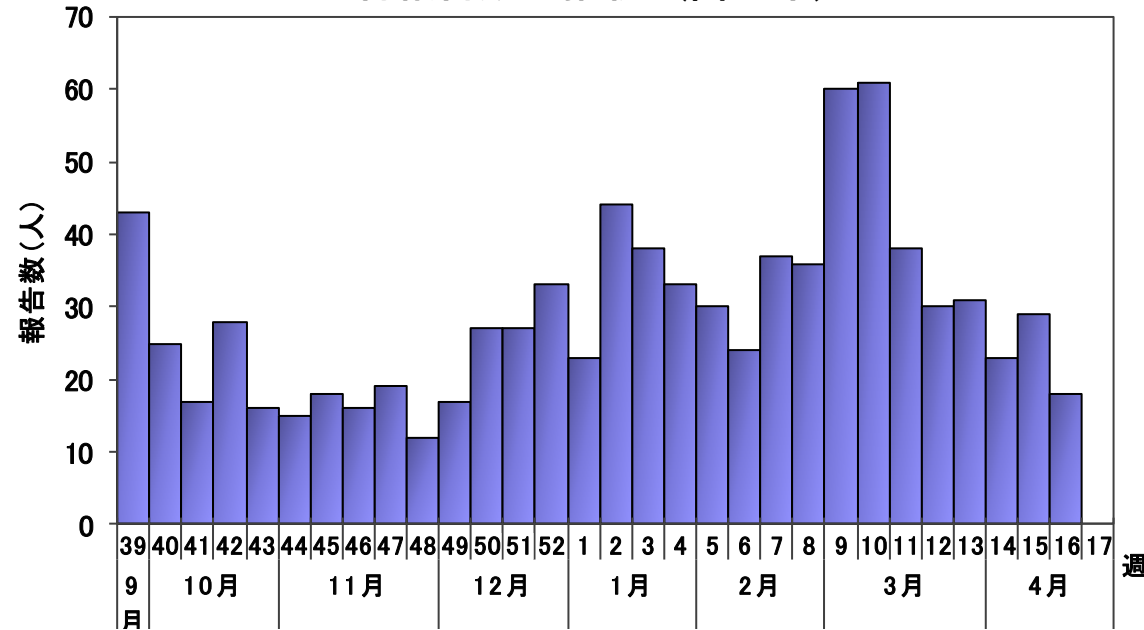
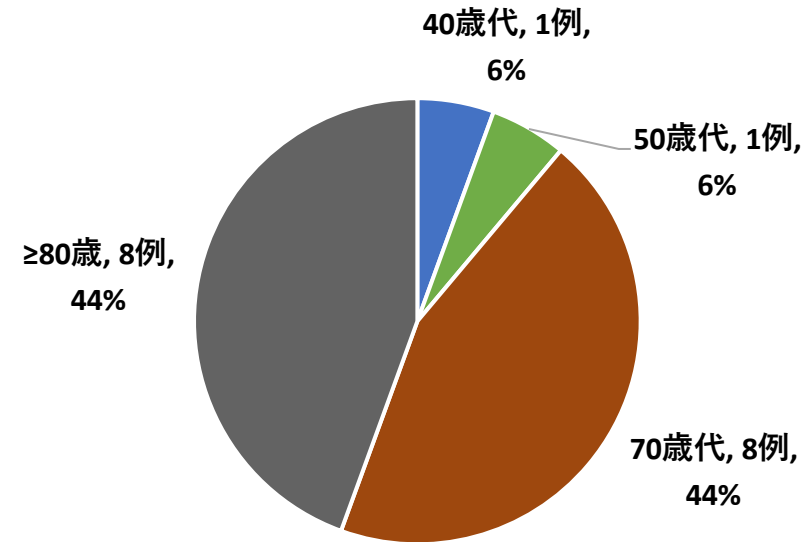


図5.COVID-19入院サーベイランス

年代分布（第16週、18例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第16週に18例の入院報告があり、先週（29例）より減少した（図4）。
- 入院患者の年代は、70歳代と80歳以上が各8例、44%を占めた。40歳代、50歳代の報告がそれぞれ1例あった（図5）。
- COVID-19の患者報告数は、2024年に入り第4週をピークに減少傾向が継続しているが、減少の割合は鈍化している。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。